



街と記憶の復興。

ArchiAid 2012 EXHIBITION

失われた街

3.11のための模型復元プロジェクト展

Commemoration by 1/500 Scale Models for 3.11

会場

兵庫県立美術館ギャラリー

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 電話 | 078-262-0901

会期

2012 6月30日 [土] → 7月15日 [日]

10:00 → 18:00 (入場は17:30まで)

入場無料 | 月曜休館

SYMPOSIUM

アーキエイド・シンポジウム in KOBE

『記憶をつなぐ復興』

2012年7月8日 [日] | 14:00 → 17:00 (13:30開場)

入場無料 | 定員250名 (要予約)

出演 | 齊木崇人、阿部仁史、小嶋一浩、
小野田泰明、鈴木伸治、槻橋 修、[進行] 堀口 徹

会場 | 兵庫県立美術館 ミュージアムホール

主催 | 「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会

共催 | 兵庫県立美術館、アーキエイド

企画 | 神戸大学大学院槻橋修研究室

企画支援 | 神戸市デザイン都市推進室

後援 | 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、
気仙沼市、神戸大学、神戸新聞社、毎日新聞神戸支局

協賛 | 積水ハウス株式会社、株式会社フェリシモ、総合資格学院

協力 | TOTOギャラリー・間、日本スペースイメーシング株式会社、名古屋市立大学久野紀光研究室



*女遊戸[岩手県宮古市崎山]

EXHIBITION

失われた街や村を1/500の模型で再現

www.losthomes.jp

2011年3月11日、東日本大震災とそれに伴う大津波によって、東日本の多くの街や村が失われました。被災した街や村の空間にはその土地の自然と共に長い期間をかけて積み重ねられた人々の記憶が宿っていました。「失われた街」模型復元プロジェクトは、全国の建築学生達が協力して被災前の縮尺1/500の復元模型を制作する取り組みです。被災地の復興と共に人々の記憶の再生を願い、1年間にわたって継続してきた活動の成果、31の復元模型が一堂に会します。

01 | 31の模型で再現される東日本の記憶

約800㎡の巨大な展示空間を岩手・宮城・福島3県の沿岸部に見立て、これまでに作成した縮尺1/500の復元模型をすべて展示します。地域にして31地域、1m四方の模型単位にして117個分の模型によって東北の街や三陸海岸の集落が再現されています。豊かな自然環境の中で生まれ、3.11によって失われた風景の多様性を体感し、かけがえのない日常があったことを伝えます。

[制作地域] 岩手県 | 野田[九戸郡野田村] / 田野畑[下閉伊郡田野畑] / 田老[宮古市] / 女遊戸[宮古市崎山] / 重茂[宮古市重茂] / 山田[下閉伊郡山田町] / 根浜[釜石市鶴住居町] / 釜石[釜石市] / 唐丹[釜石市唐丹町] / 崎浜[大船渡市三陸町越喜来] / 大船渡[大船渡市] / 陸前高田[陸前高田市] 宮城県 | 唐桑・大沢[気仙沼市] / 鹿折-1[気仙沼市] / 鹿折-2[気仙沼市] / 気仙沼・南町[気仙沼市] / 弁天町[気仙沼市] / 南気仙沼駅周辺[気仙沼市] / 大島[気仙沼市] / 階上・岩井崎[気仙沼市] / 本吉・大谷[気仙沼市] / 小泉[気仙沼市本吉町] / 志津川[南三陸町] / 長清水[本吉郡南三陸町戸倉] / 女川[社鹿郡女川町] / 石巻[石巻市] / 荻浜・小横浜[石巻市] / 鮎川浜[石巻市] / 荒浜[仙台市若林区] 福島県 | 相馬港[相馬市] / 浪江[双葉郡浪江町]



*石巻[宮城県石巻市]



南気仙沼駅周辺[宮城県気仙沼市]

02 | 復元模型によって紡ぎ出された人々の記憶

復元模型をのぞき込んだ現地の人々から、多くの言葉が語られました。2011年6月から気仙沼市の各地において地域の皆さんと模型に色を塗り、思い出の場所にフラッグを立てる「記憶の街ワークショップ」を行ってきました。地図や写真では見えなかった街の記憶が立体的に現れます。本展ではワークショップ模型の展示に加え、プロジェクトに参加した演劇人達によって制作された住民の証言を元にした演劇作品「失われた街ギャラリー〜リーディング〜鹿折(宮城県気仙沼市)〜」(演出:高尾隆、映像監督:蔵岡登志美)を上映します。



*浪江[福島県双葉郡]

*写真:太田拓実

03 | 各地ではじまる復興への取り組み

3.11発災直後より全国の建築家と建築教育に携わる人々を結ぶプラットフォームとして「アーキエイド」が設立されました。「失われた街」模型復元プロジェクトもアーキエイドのネットワークによって大学を超えた共同制作が可能となりました。本展ではアーキエイドの活動をはじめ、建築家や都市計画化によって現在進行している「街と記憶の復興」への取り組みをパネルで紹介いたします。

04 | 失われた街1.17神戸

1995年1月17日、阪神地域を襲った阪神淡路大震災において、神戸の街も多くの部分を失ってしまいました。本展に際し、会場となる神戸から東日本の被災地へ、復興への願いを込めて、特に被害の大きかった長田・三宮・六甲地区の復元模型を制作・展示します。

SYMPOSIUM

『記憶をつなぐ復興』

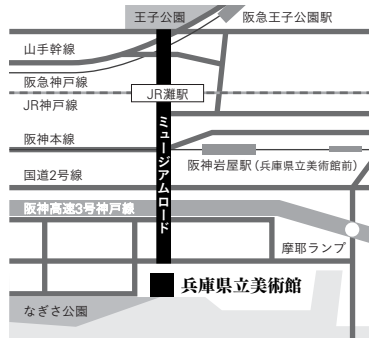
アーキエイド・シンポジウム
in KOBE

7月8日[日] 14時-17時(13時半開場) | 入場無料[定員250名※予約]
兵庫県立美術館ギャラリー棟1Fミュージアムホール

アーキエイドの中心メンバーをはじめ被災地復興に関わる建築家・研究者を招き、街と記憶の復興へ向けての課題について、それぞれの活動と共に話し合います。

出演 | 齊木崇人 [神戸芸術工科大学学長 | 神戸市統括監] / 阿部仁史 [建築家 | UCLA建築・都市デザイン学科長]、
小嶋一浩 [建築家 | 横浜国立大学大学院Y-GSA教授] / 小野田泰明 [建築計画者 | 東北大学災害科学国際研究所教授]、
鈴木伸治 [都市計画家 | 横浜市立大学准教授] / 槻橋 修 [建築家 | 神戸大学大学院准教授]

進行 | 堀口 徹 [立命館大学准教授]



*予約方法 | お名前/ご所属(会社・学校等)/お電話番号を記入の上、0708@losthomes.jpまでE-mailにてお送りください

内容問合せ | 078-335-5512
「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会
(ティーハウス建築設計事務所内 担当 | 平尾)